



関西支部会 会報

KANSAI

三医会関西支部会事務局

〒651-2133 神戸市西区枝吉1丁目16
(医)倫生会 みどり病院 室生 卓
TEL 078-928-1700
FAX 078-928-1772
E-Mail tmuro@midori-hp.or.jp



乳がん診療に於ける外科的・薬物的療法のコツ

三重大学医学部附属病院乳腺センター

小川 朋子 (H5年卒)

この度は三医会関西支部の講演会にお招きいただき、ありがとうございました。

私は平成元年卒業で、水本龍一先生が教授の時、旧第一外科に入局しました。最初は消化器外科を専門にしており、大学院でも肝発癌の研究を行っていましたが、2000年に、当時勤務していた山田赤十字病院（現伊勢赤十字病院）で乳腺外来を担当することになりました。以後、乳癌の診療を専門とするようになりました。

乳癌診療はこの30年間に大きく変化しました。画像診断の進歩により、早期で発見される乳癌が非常に増加し、治療法も手術中心から、手術・薬物療法・放射線療法の集学的治療となりました。私の専門領域である外科治療についても、乳房切除十腋窩リンパ節郭清のみであった術式が、乳房温存手術・センチネルリンパ節生検・乳房再建術など多様化し、また、根治性だけでなく見た目の美しさ（整容性）を考慮するオンコプラスティックサーチャリーという概念が確立しました。治療体制も外科医を中心からいろいろな分野の人達が1人の患者さんの治療にあたるチーム医療体制となりました。

現在の三重大学は、乳癌の薬物療法は腫瘍内科にお任せし、私たち乳腺外科医は手術に特化して行っていますので、本日は、乳癌手術の実際、特に乳房温存手術できれいな乳房を形成するためのコツを紹介します。

まず、術前に乳房や腫瘍の状態を評価し、患者さんの希望を確認しておくことが重要です。乳房の状態（大きさや下垂の程度、乳腺と脂肪の割合）、腫瘍の状態（切除部位や切除量が乳房に占める割合）を評価し、患者さんがどういう手術を希望しているかを確認した上で、根治性を確保しつつ合併症などを考慮しながら手術を考えます。乳房がきれいかどうかは主観的な評価なので、患者さんが望む形を確認しておることは術後の満足度を考える時、非常に重要です。通常、左右の乳房ができるだけ対称になるように乳房形成を行うのですが、その中でも特に乳頭乳輪の位置や形が左右対称となるように注意を払います。のために皮膚切開を工夫したり、乳頭乳輪を移動させたりする様々な手技を行うことになります。多少、乳房サイズは小さくなつても、乳房の形態と乳頭乳輪の対称性が保たれていると患者さんの満足度は高くなります。また、手術は仰臥位で行っていますが、患者さんが術後自分で

の乳房を見る時は立位の状態なので、術中に立位の状態をイメージして乳房の形成を行つことが重要です。

手術を受けた患者さんが、術後の状態に満足し、局所再発や合併症に苦しむことなく、幸せに過ごすことができるようになるのが最良の手術と考えています。



三医会関西支部総会開催報告

医療法人 佳洛庵 志馬クリニック四条烏丸

志馬 裕明 (H5年卒)

京都で産婦人科クリニックを開業しております、平成5年卒の志馬裕明（しめひろあき）と申します。名誉支部長の杉本浩一先生より本年度関西支部会総会の幹事を拝命しましたので、去る2月14日（日）、京都のホテルグランヴィア京都にて開催された「平成28年三医会関西支部総会・講演会・懇親会」についてご報告いたします。

当日の京都は、立春から雨水への変わり田うらしく、朝から小雨がぱらつくものの暖かい過ごしやすい一日でした。総合司会を、同じく京都でくみークリニックを開業されている向田公美子先生にお願いし、学術講演会Ⅰは、神戸大学医学部附属病院糖尿病内分泌内科助教・福岡秀規先生の座長のもと、大阪市立総合医療センター内分泌内科部長・金本亘哲先生より「内分泌性高血圧症について」といつ講演を拝聴しました。原発性アルドステロン症や褐色細胞腫といった内分泌性高血圧症について、臨床的な内容を中心に分かりやすくご説明くださいり、第一線で活躍しておられる専門医からの講義は大変参考になりました。次に、現関西支部支部長でみどり病院院長・室生卓先生の座長のもと、三重大学医学部乳腺外科学教室教授・小川朋子先生より「乳がん診療に於ける外科的・薬物的療法のコツ」という講演を拝聴しました。乳がん診療は今や専門化、細分化が進み、その中でも「根治性と整容性向上させる乳がん手術＝オノコプラスティック・サーチャリー」について写真を多用しながら分かりやすくご説明くださいました。個人的には、整容性を考える上で最も重要な前提、すなわち「術者は乳房を寝てみる、患者は乳房を立つてみる」という事実はまさに目から鱗が落ちました。

次に、各種報告がおこなわれました。陳慶祥先生から会計報告、譜久山仁先生から関西支部会ホームページについての説明、私から寄付金のご報告の

後、三医会会长・川原田力也先生から最近の三重大学医学部と三医会の状況について御報告をしていただきました。関東支部からは支部長の山中寿先生、東海支部からは支部長の水元亨先生がお越し下さいまして、それぞれご挨拶をいただきました。



各種報告後、参加者全員で記念撮影を行い、会場を変えて懇親会へと移りました。懇親会は、同期の辻川薰先生に司会をお願いし、昭和45年卒の黒田淳一先生による乾杯のご発声とともに、ホテルのプロによるBGMが会場全体を包み込み…ん!そんな予算はなかつたはずやけど…と思いまきや、なんと、早変わりしてスタンバイしていた元サニー・オールスターズの支部長・室生卓先生が率いる精鋭部隊による生JAZZ演奏でした!参加者全員の近況報告あり、小川先生へのサプライズプレゼントミュージックあり、アコールありと、気がつけばあつという間に楽しい2時間が過ぎ去りました。これまでにない新しい趣の関西支部会で、今後は、室生先生が支部長であるかぎり、毎回生演奏つきで楽しくやるぞ!!と、高らかに宣言して下さいました。最後に、平成29年度の関西支部会幹事をしてくださいます大阪の西岡良泰先生から告知があり、和やかに会はお

開きました。
最後になりますが、同門会開催に際しまして、名譽支部長の杉本浩一先生、新支部長の室生卓先生はじめ、関係各先生の多大なるご支援とご尽力に厚く御礼申し上げます。



関西支部総会（平成28年2月14日 於 ホテルグランヴィア京都）

昨年春に杉本名譽支部長より「指名頂き関西支部長を拝命してはや一年半がたちました。しかし、実態は杉本名譽支部長に『あんぶにダッコ』の状態で何から何までご指導頂いているのが実情です。関西支部の行事は春の三医会総会への出席、夏の新人歓迎会、秋には支部会報の編集、発刊、年末には津での学術講演会、そして年が開けて2月には支部総会があります。さらに7月の東海支部会、8月の関東支部会への参加もあり年間を通じて色々な行事があります。このうち昨年末の学術講演会、春の総会、夏の関東支部会には杉本名譽支部長に参加して頂きました。こうしてみると私はまったく半人前の支部長です。しかし2月の支部総会では当番幹事の志馬先生がよく頑張ってくれて素晴らしい会にすることができましたし、先日の新人歓迎会では西岡先生、辻川先生、S59年卒の先生方のご協力でこれまでにない大勢の参加者を得て開催することができました。詳しくはそれぞれの開催報告をご参照ください。

さて、このような頼りない支部長ですので当面関西支部の先生方は覚悟して頂かなければなりません。なぜならば今後は総会や各支部への参加も支部の先生方にお願いしうかと企んでいるからです。たまには関西支部の代表として津、名古屋、東京へ行って同級生や先輩後輩と旧交を暖めていただくのも良いかと思います。

同窓会というのは不思議なもので、この1年半でたくさんの先生方との出会いがありましたが同窓生という安心感、信頼感が前提にありますしそれは裏切られることはありません。時代は違えども津の同じ学び舎で青春時代を過ごしたという共通点のなせる技でしょうか。

これからも一人でも多くの会員の先生方が安心して楽しく集まる場所を作っていくたいとおもいます。どうぞよろしくお願い致します。



関西支部長 室生 卓 (S61年卒)

支部長2年生



平成28年関西支部新人歓迎会

辻川
薰（H5年卒）

今年も関西で医師としてのスタートを切った三重大学卒業者を迎えて、三医会関西支部新研修医歓迎会を平成28年9月3日（土）、西梅田フリーザブリーゼの『かもめキッチン』で開催いたしました。昨年までは北梅田の居酒屋で20名ほどの参加で開催していましたが、今年は少し気分を変えてレストランを貸し切っての開催でした。杉本名誉会長はじめ多くの支部会員の皆さんご尽力で40名を超える参加を得て盛大に行つことができました。

神経外科病院副院長)より樂しい「メントもありました。学生時代以来何十年ぶり、同じ大学だけど初めて会う、といふ場面が多々ありましたが、そこは同窓生、お酒のせいも少しあつて最後は和氣あいあい、全員一コ二コ顔で記念撮影となりました。



三医会関西支部 ITの取り組み

譜久山 仁 (H10年卒)

ホテルグランヴィア大阪 (<http://www.granvia.jp>) にて開催予定の「平成29年三医会関西支部総会懇親会」について告知させていただきます。

とき 平成29年2月5日(日)
ところ ホテルグランヴィア大阪
総合司会 辻川 薫先生(平成5年卒)
20階 孔雀の間 14時

11

国立循環器病研究センター 動脈硬化・糖尿病内科
　　橡谷真由先生（平成18年卒）

学術講演会Ⅱ 座長 松本浩一先生（昭和4年卒）
「かかりつけ医に必要な眼科疾患の病態像と最近の治療」

また、大井由美子先生（昭和59年卒）が関西医科大学麻三重大学医学部明科学教室教授 近藤峰生先生

吉田和諭教授に平成23年4月から関西医科大学附属病院麻酔科診療教授に就任されましたので、そのお祝いを行いた

と考えております。
懇親会につきましても、今回も元サニーオールスターーズ

（支部長・室生卓先生が率いる精鍛部隊による生）JANN

常連の先生方も、はじめて無沙汰だった先生方や初めて参加してみようと考えられている先生方も、一人で

多くお説いあわせの上に参加したたまおもよ／＼宣伝／＼お
かしいいたします。



三医会関西支部総会開催告知

まだないくすりを
創るしごと。

明日は変えられる。

 **astellas**
Leading Light for Life
アステラス製薬
www.astellas.com/jp/

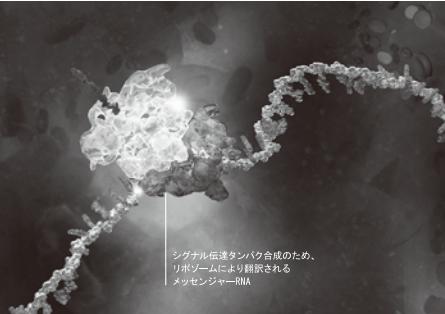
命のために、
できること
すべてを。

Photography by ハービー・山口

 大日本住友製薬 Innovation today, healthier tomorrows

What science can do

AstraZeneca



シグナル伝達タンパク合成のため、リボソームにより翻訳される
メッセンジャー-RNA

アストラゼネカ株式会社

〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーB
www.astrazeneca.co.jp/

経口FXa阻害剤 薬価基準収載

 **Lixiana®** edoxaban tablets 15mg 30mg 60mg

一般名:エドキサバントシリ酸塩水和物
処方箋医薬品 注意-医師等の処方箋により使用すること

※効能・効果・用法・用量および警告・禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

製造販売元(資料請求先)
 **第一三共株式会社**
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2015年4月作成

願いをこめた新薬を、世界のあなたに届けたい。
「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」

わたしたちは、新薬の開発に挑み続けます。
待ち望まれるくすりを、一日でも早くお届けするために。





Better Health, Brighter Future



タケダから、世界中の人々へ。
より健やかで輝かしい明日を。

武田薬品工業株式会社 www.takeda.co.jp

三医会関西支部役職者一覧表 (敬称略)

●支部長 室生 卓 (S61年)	●監査 石原 政芳 (S40年)
●副支部長 (各府県1名)	植松 有庭 (S43年)
大阪府 蔭山 充 (S52年)	●勤務医会代表の理事
京都府 志馬 裕明 (H5年)	岡田 行功 (S48年)
兵庫県 深沢啓二郎 (S61年)	林田 孝平 (S50年)
奈良県 西川 勝仁 (S53年)	斉藤 徹 (S52年)
和歌山県 中村 光作 (S53年)	習田 龍 (H7年)
滋賀県 山形 高志 (S51年)	豊川 貴弘 (H10年)
●専務理事	●開業医会代表の理事
総務 宇野 敦彦 (H5年)	細野 進 (S51年)
会計 武内 真有 (H16年)	倉田 順弘 (S54年)
厚生 猪尾 芳弘 (H7年)	山下 宜繁 (S59年)
IT 陳 慶祥 (H7年)	町田 英世 (H2年)
譜久山 仁 (H10年)	西岡 良泰 (H5年)
辻川 薫 (H5年)	小野 義春 (H5年)
	高澤 正志 (H8年)
	●名誉支部長 杉本 浩一 (S42年)